

平成28年度 学校経営計画書

石川県立工業高等学校

学校長 宮越 雅一

1 教育目標

- ① 工業技術者としての自覚を高め、創造力、実践力を伴う勤労意欲に満ちた人間を育成する。
- ② 自己の行動に責任が持て、広い視野に立って正しい判断ができる社会人を育成する。
- ③ 健康でたくましい体力と忍耐力を持って、試練に耐え問題を解決できる人間を育成する。
- ④ 自然環境や郷土について正しい理解ができ、地域社会に貢献できる人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 今年度、創立130年の節目を迎える伝統と歴史を有し、県内を中心に地域産業の有為なる人材を輩出している本県の工業教育の中心校である。7つの学科がそれぞれ特色ある教育活動を行い、工業人の育成と伝統工芸の継承者の育成に努めている。
- ② 明るく活発で、好奇心旺盛な生徒が多く、活力のある校風であるが、変化の激しい現代社会において、生徒自らが主体的に考え、豊かな思考力・判断力・表現力を育成し、課題対応力を向上させることが必要不可欠となっている。
- ③ 中学生の普通科志向、上級学校への進学志向が高まる中で、本校への志願者確保が課題となっている。工業技術立国である日本の産業を支える上で、工業教育の魅力やものづくりの楽しさ、重要性を地域社会へ積極的にアピールすることが求められる。
- ④ 地元企業との連携をさらに密にするとともに、地域のニーズを的確に捉えた進路指導が大切である。また、大学等の上級学校への進学を視野に入れつつも職業意識、目的意識の高い生徒の育成が必要である。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 社会の変化や産業の動向に対応し、将来の工業技術者としての基礎技術力と実践力を身につける。
- ② 将来の職業人としての職業観・就業観を育成し、規則正しい生活習慣の定着や規範意識の高揚、コミュニケーション能力を高める。
- ③ 体力、精神力、チームとして活動する力を高め、何事にも積極的に挑もうとするチャレンジ精神を育成する。
- ④ 専門教科並びに普通教科の学力向上を図るとともに、社会人基礎力を身につけた産業人に育てる。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校運営として、学科、学年、部活動との連携を強化し、「タテ、ヨコ、ナナメ」の全校一丸となった指導体制を構築する。
- ② 本校のビジョンを共有化・明確化し、地域のニーズに応えられるモチベーションの高い生徒の育成に努める。
- ③ アクティブラーニングの手法を積極的に活用し、生徒の主体的な学習活動をファシリテートできる指導法を確立するよう努める。
- ④ 本校の特色、工業高校の魅力を地域に発信し、地域連携や企業との連携、上級学校との連携を積極的に行い、ものづくり教育の活性化、さらには、進路指導の充実と実績により、将来のものづくり人材の輩出に尽力する。

3 今年度の重点目標

- ① 生徒の主体的・協働的学習を推進し、アクティブラーニングの手法により、思考力や表現力、コミュニケーション能力の育成に努める。
(学びのスタンダード、SPH事業の推進)
- ② 将来の職業人としての意識の高い生徒の育成のため、規範意識やマナーの向上を目指す。(人間力スタンダード、校訓の活用)
- ③ 専門的技能の習得をはじめ、資格取得や検定、各種コンテストに意欲的に取り組み確かな進路実現を図る。(技能スタンダードの推進)
- ④ 部活動や学校行事等、課外活動への積極的な参加を促し、たくましい体力と精神力、豊かな心を育む。